

住宅用屋根瓦一体型太陽電池の実装

(実施期間：2003～)

技術テーマ区分番号：①

主な実施場所：全国

取組活動の内容

事業目的・概要

住宅の美しいデザインを維持し、 まちなみに調和する太陽光発電システム

● お客様には、様々な生活スタイルがあり、敷地の条件などによって住宅の形状はそれぞれ異なります。従来の住宅用太陽光発電システムは、こうしたお客様ごとの違いに関わりなく、画一的な形状の太陽電池モジュールを屋根の上に据え付けることを当然としてきました。その結果、エネルギー面で環境保全に寄与する一方で、建物のデザインやまちなみが損なわれる状況が生じていました。

そこで積水ハウスは、より多くの家で採用していただくために、太陽電池モジュールのデザインを改良。太陽電池モジュールそのものを屋根材にするとともに、当社専用の陶器平瓦と同じ高さに統一することで一体感が生まれ、建物のデザインを維持し、まちなみと調和する「瓦一体型太陽光発電システム」を開発しました。これによって寄棟屋根や複雑な形状の屋根にも効率よく設置でき、四角い太陽電池モジュール以上の発電量を確保します。お客様も、より多くの余った電力を電力会社に売却することができるようになりました。積水ハウスでは、これからもお客様の立場に立った視点で、「快適性」「経済性」「環境配慮」にすぐれた「グリーンファースト」をお客様に提供していきます。

連携実施者

- シャープ株式会社：住宅用屋根瓦一体型太陽電池
- カネカソーラー販売株式会社：住宅用屋根瓦一体型太陽電池
- 京セラ株式会社：住宅用屋根瓦一体型太陽電池

関連外部リンク先

- 「グリーンファースト ゼロ+R」によりZEH 普及を加速
A[https://www.sekisuihouse.co.jp/company/topics/datail/_icsFiles/afieldfile/2020/04/10/20200410_1.pdf]

イメージ図

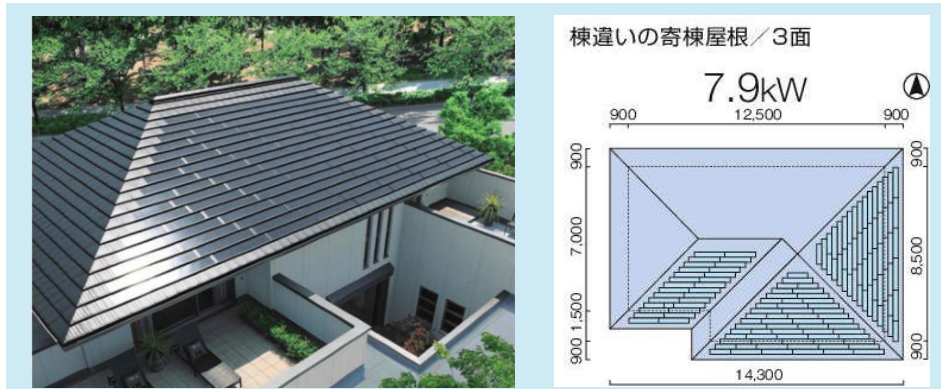


図1：屋根形状に合わせて効率よく敷き詰められた瓦一体型太陽光発電システム

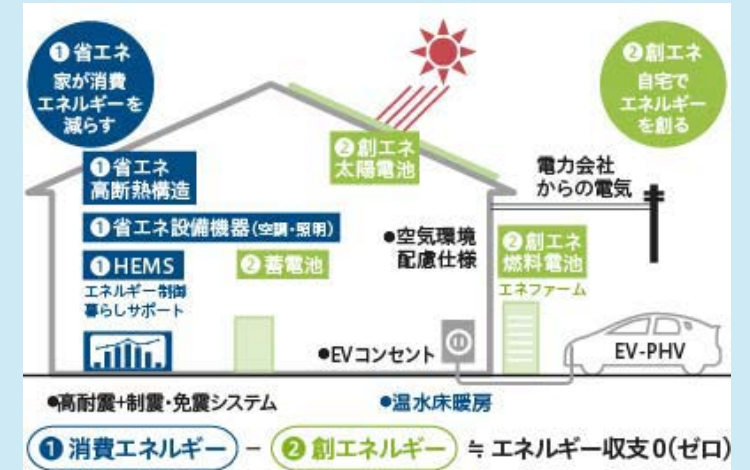


図2：グリーンファーストゼロ+R